

市民参加に係る新しい事業や取組
(平成29年2月15日から6月6日までに広報発表されたもの)

広報発表日	概 要	所属	QRコード
3月6日	住宅関連団体と「京都市における自治会・町内会の加入促進に関する協定」を締結 お住まいをお探しの方に対して、住宅事業者の方から、物件所在地の地域で取り組まれているお年寄りの見守りや子育て支援等の活動を紹介いただくことなどを内容とする「京都市における自治会・町内会の加入促進に関する協定」を、住宅関連団体との間で締結	文化市民局 地域自治推進室	
3月22日	町内会を応援する冊子「あってよかった！町内会！」を発行（下京区役所） コミュニティ活性化を目的に、御近所どうしの繋がりづくりや安心安全なまちづくりに大きな役割を果たしている「町内会」を応援するため、町内会があることの良さ（メリット）や新しくお住まいになられた方等へ「声のかけ方」をまとめた、町内会長様向けの冊子「あってよかった！町内会！」を発行。	下京区役所 地域力推進室	
3月22日	第1回「まち・ひと・しごと・こころ京都創生協働ミーティング」を開催 市民、経済界、大学、地元金融機関、労働団体、メディア等の皆さんと京都市長が懇談し、人口減少の克服等について、課題、目標、行動を共有するための「まち・ひと・しごと・こころ京都創生協働ミーティング」を開催。 <日時> 平成29年3月28日（火）午後5時～午後6時30分 <場所> 京都銀行本店 6階応接室 <出席者> 京都銀行：公務・地域連携部 部長、ほか職員7名程度 京都市：門川市長、ほか総合企画局職員、産業観光局職員6名程度	総合企画局 総合政策室 創生戦略・市民協働推進担当	

3 月 27 日	全区役所・支所への卓上型磁気ループシステムの配備が完了 補聴器を使用される難聴者・高齢者の方の情報保障に有効な設備である『磁気誘導ループ』について、平成 28 年 4 月から、全ての区役所・支所に持ち運び可能な『移動型の磁気誘導ループ』を配備。また、磁気誘導ループが設置されていることを示す「T 付き耳マーク」を入口付近等に表示するなど、難聴者・高齢者の方が利用しやすい環境づくりを推進。 さらに、これまでの取組に加えて、カウンターなど 1 対 1 や少人数の場面で用いることができる小型の『卓上型磁気誘導ループシステム』を全区役所・支所及び京北出張所への配備が完了。	保健福祉局 障害保健福祉推進室	
3 月 29 日	「醍醐へ Go! 安心安全おでかけ MAP」を発行 「安心安全おもてなしのまち醍醐・推進協議会」^(※)において、京都府警察学生防犯ボランティア「ロックモンキーズ」の協力のもと、醍醐地域の歴史遺産や自然の魅力を安心安全に楽しんで散策いただける散策マップ「醍醐へ Go! 安心安全おでかけ MAP」を発行 (※)「安心安全おもてなしのまち醍醐・推進協議会」 醍醐地域における安心安全に係る団体（各種地域団体、行政、警察、消防）相互の緊密な連携を図り、誰もが安心安全に、笑顔で、楽しく暮らし、観光できる、やさしさあふれるおもてなしのまちとするため、平成 27 年 6 月に設立。	伏見区役所 醍醐支所 地域力推進室	
3 月 29 日	京都市地域支え合いボランティア活動助成事業の実施 ～「軒下」「縁側」から始める「ほどよい距離」での支え合い～ 地域の高齢者の皆さんが相互に支え合えるまちづくりを進めるため、地域住民の皆さんが取り組まれる高齢者の「ちょっとした困りごと」に対する支援活動に対して、活動経費を助成する制度を新設。	保健福祉局 長寿社会部 長寿福祉課	
3 月 29 日	北区安心安全マップの発行 北区では、地域住民の皆さん、区内の 4 大学（大谷大学、京都産業大学、佛教大学及び立命館大学）及び行政機関が連携し、世界一安心安全なまち北区の実現に向けた取組を推進。その一環として、京都産業大学及び佛教大学の学生の皆さんとの協働により、各大学周辺地域の安心安全に関する情報誌「北区安心安全マップ」を発行。	北区役所 地域力推進室	

3月29日	“みんなごと”のまちづくり推進事業 『文化庁京都移転・私たちができること推進チーム「いきいき春の文化祭」』を開催 文化庁の京都移転を契機に、「文化の力で日本を元気にするために、自分たちに何ができるか」を考え、市民ぐるみで行動するチーム京都^(※)「文化庁京都移転・私たちができること推進チーム」を結成し、京都に息づく「日本伝統の生活文化、精神文化や多彩な文化芸術」の更なる振興・発信などを推進。 その一環として、チームメンバーである、特定非営利活動法人劇研と特定非営利活動法人障害者芸術推進研究機構（天才アート KYOTO）が中心となり、障害のある方が描かれた絵画等と楽しく出会うアートイベント「いきいき春の文化祭 ～アール・ブリュットとの出会い～」及び作品展示を開催。 （※）チーム京都 市民と本市職員が連携して、関連する互いの取組を推進するプロジェクトチーム <日時> (1) 「いきいき春の文化祭～アール・ブリュットとの出会い～」 平成29年4月29日（土曜日・祝日）午後1時～午後4時 (2) 作品展示 平成29年4月29日（土曜日・祝日）午後1時～5月14日（日曜日） （午前10時～午後9時まで（火曜日を除く）、日曜日は午後5時まで） <会場> 左京東部いきいき市民活動センター	総合企画局 総合政策室 創生戦略・市民協働推進担当	
3月30日	区役所若手職員のプロジェクトチームが企画・提案！ 左京区役所に記念撮影コーナーを開設 左京区役所において、1階区民ロビーに、来庁者の皆様が気軽に使用できる「記念撮影コーナー」を開設（左京区のシンボルマークを散りばめた背景パネル）。これは、区役所の若手職員17名で構成する「左京区役所プロジェクトチーム」がアイデアを出し合い、企画し、実現化したもの。 （参考）平成28年度左京区役所プロジェクトチーム（平成20年度以降、毎年度チームを結成）	左京区役所 地域力推進室	

	区役所の各所属の若手職員 17 人で構成し、区役所改革のためのアイデアを出し合い、その中から実現性の高い次の 3 つの取組を推進。 ①「記念撮影コーナー」の設置 ②来庁者に対する案内ツールとして、職員用の区役所へのアクセスマップ、周辺施設案内の作成 ③以前から実施している「傘貸出サービス」、「乳幼児向け図書閲覧サービス」の改善		
5 月 11 日	「SILK ジャーナル」を発行 京都市及び公益財団法人京都高度技術研究所では、市民、企業、NPO、大学などの多種多様な組織や個人が、京都で社会的課題の解決に挑戦し、過度の効率性や競争原理とは異なる価値観を広める「京都市ソーシャル・イノベーション・クラスター構想」を推進中であり、京都市ソーシャルイノベーション研究所（SILK）において、これまでの取組と成果を取りまとめたタブロイド判の報告書「SILK ジャーナル」を発行。	産業観光局 産業政策課	
5 月 17 日	「みんなで守る “みち・かわ・みどり” 京のまち」～公共土木施設の維持管理に係る市民協働推進指針～を策定 京都の市民力や地域力を最大限にいかし、市民と行政が共に汗を流し協働する市民協働型の維持管理の実現に向け、「みんなで守る “みち・かわ・みどり” 京のまち～公共土木施設の維持管理に係る市民協働推進指針～」を策定。	建設局 土木管理課	
5 月 25 日	「京都市子どもの居場所づくり支援事業補助金」を創設 「子ども食堂」をはじめとした「子どもの居場所づくり」の取組が、より多くの地域で継続的に行われていくよう、これまで以上に支援を充実することとしています。 平成 29 年 3 月に策定した「貧困家庭の子ども・青少年対策に関する実施計画」を踏まえ、「子ども食堂」をはじめとした「子どもの居場所づくり」の取組の更なる展開を図るため、子ども食堂や学習支援等に新たに取り組む民間団体に対して初期費用の一部を助成。 ＜募集期間＞ 平成 29 年 5 月 25 日（木）～6 月 30 日（金）	子ども若者はぐくみ局 子ども家庭支援課	

5 月 29 日	ニュータウンにおける地域団体活動ステップアップサポート事業を開始 「洛西ニュータウンアクションプログラム」及び「向島ニュータウンまちづくりビジョン」の推進に寄与する地域主体のまちづくり活動に対して、必要に応じてアドバイスを行うとともに、各団体の成熟度（ステップ）に合わせて、活動等に伴う経費を助成。 ＜申請の相談及び受付の期間＞ 平成 29 年 6 月 1 日（木）～7 月 31 日（月）	都市計画局 都市総務課	
----------	--	----------------	---